

中医協「2012年度第3回 診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会」 2012/6/20
次回改定に向け基礎係数・機能評価係数Ⅱの評価手法等を整理

診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会(分科会長：小山信彌・東邦大学医学部外科学講座心臓血管外科教授)は6月20日、次回診療報酬改定に向けた基礎係数・機能評価係数Ⅱの評価手法等にかかわる論点を議論・整理した。



事務局は、実績データの収集開始前である2012年9月末までに基礎係数・機能評価係数Ⅱの基本方針の取りまとめ、2013年秋ごろまでにDPC細部の対応案の取りまとめを目指すべく、具体的な検討項目を提示。「基礎係数」に関する項目として、①医療機関群の在り方(I～Ⅲ群)、②Ⅱ群要件設定の在り方——を挙げた。一方、「機能評価係数Ⅱ」は、①現在の6項目の在り方、②各評価項目への評価手法の在り方、③医療機関群別設定の在り方(地域医療指数など)——が提案された。

「基礎係数」、「機能評価係数Ⅱ」双方において、①の項目に関しては現在決められているルールに則って今後も進めていくという方向性で意見の一致を得た。一方、Ⅱ群要件の設定など具体的な項目に関しては、松田晋哉分科会長代理(産業医科大学医学部公衆衛生学教授)や鳴森好子委員(社団法人東京都看護協会会長)の「データを十分に集めた上で、データを分析しながら個別具体的に議論をするのが望ましい」という意見を参考に、今後時間をかけて整理を進めていくのが妥当であるとの方向性が打ち出された。また、委員の中から「適切なDPCコーディングを目指すために、モデル事業を近いうちに実施するべきではないか」という意見が出され、次回会合で引き続き検討することが決められた。今日の議論を踏まえ、事務局の方で再度論点を整理し、次回会合でもう一度具体的に論点の議論・整理を進めるという形で、委員の同意を得た。

■次回改定に向けたスケジュール案を承認

会合では、次回診療報酬改定に向けたDPC制度にかかわる検討スケジュール案が、内容を整理の上、再度提出された。具体的には、基本方針の取りまとめやDPC細部の対応案の取りまとめに関する検討項目が書かれた「DPC制度の在り方」、算定ルール等の見直し案や適切なDPCコーディングに向けた対応策の取りまとめに関する検討項目などが書かれた「DPC制度運用上の課題」などが列記されている。その中でDPCコーディングに向けた対応案において、当初2013年末に取りまとめの方針だったが、2013年秋ごろに前倒しで取りまとめを行うことが提案された。この案に対し、委員からの反対はなく了承され、今月27日に開催される中医協・総会において承認を得る予定。

次回会合は7月下旬に開催予定。